

浜岡原子力発電所 3 号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水ポンプ(C)電動機
の点検について

2010 年 4 月 2 日

発生号機	3 号機（定格熱出力一定運転中） ：沸騰水型、定格電気出力 110 万キロワット
発生年月日	2010 年 4 月 2 日
発生時の状況	当社は、発電設備の保全の一環として、運転中の回転機器の振動、摺動音等から設備の運転状態の監視を行っています。 その中で 4 月 1 日に 3 号機の高圧炉心スプレイ機器冷却水ポンプ※ ¹ (C)の電動機軸受部の振動値が通常よりわずかに高いことを確認しました。 現在の当該電動機の振動値は、ポンプの運転に支障のないものですが、このまま長期間運転を継続した場合、軸受部に何らかの不具合の発生が懸念されるため、予防保全の観点から当該電動機を予備機として停止し、点検を実施することを、本日 13 時に決定しました。 なお、本事象による 3 号機の運転への影響はなく、安定に運転を継続しています。
対応	運転中のポンプ(C)については、予備機であるポンプ(B)に切替えた上で停止し、作業の準備が整った段階で、当該電動機の分解点検を行います。
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。
お知らせ基準	「表 2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。

※1 高圧炉心スプレイ機器冷却水ポンプは、高圧炉心スプレイ系の機器を冷却するための水を循環するためのポンプです。同ポンプは(A)、(B)、(C)の 3 台あり、通常 2 台が運転し、1 台は予備機として停止しています。また、高圧炉心スプレイ系は非常用炉心冷却系の一つで、原子炉内の圧力が高い状態でも原子炉内への水の注入が可能な系統です。

以上